

# ちいさなたね【乳児おたより】

あり組・ひよこ組・りす組

2023年度 6月

聖和乳幼児保育センター

入園して2か月が経ちました。子どもの名前を呼んだ時や、「おはよう」「バイバイ」など挨拶をした時、にこっと笑顔を見せてくれる姿が増えてとても嬉しく思います。日に日に行動範囲が広がり、すり這いやはいはい、伝い歩きで気になる玩具を取りに行ったり座りながら近くの玩具に手を伸ばしたり、保育者に見守られ安心して探索活動を楽しんでいます。また、大学構内へのお散歩ではバギーに乗りながら心地良い風に触れたり、景色を見たりすることを楽しんでいます。園庭や大学の森にシートを敷くとその上で砂や葉っぱの感触を楽しんだり、アリやダンゴムシを目で追ったり指先で触れたりして身近な自然に関わろうとする姿が見られます。これからも子どもたちが安心して過ごせるようにゆったりと関わりながら、一人ひとりの思いを受け止めていきたいと思ひます。

雨の多い季節になりますが、室内でも様々な形のマットやトンネルなどを使って身体を動かすことを楽しみ、晴れ間には散歩に出掛けて自然に触れて心を動かしていきたいと思ひます。



歌が大好きな子どもたち。  
『おもちゃのチャチャチャ』や『しあわせなら手をたたこう』などの歌をうたうと、保育者の顔を見ながら身体を揺らしたり、手を叩いたりして楽しむ姿が見られとてもかわいいです。  
これからも歌や手遊びと一緒に楽しんでいきたいと思ひます。

ひよこ組になり、2か月が経ちました。園での生活に徐々に慣れ、笑顔で過ごす時間が増えてきました。好きな遊びを見つけて遊んだり友だちと関わってみようとしたり、楽しく過ごしています。特に、『はたらくくるま』の歌や『ばななくん体操』が好きな子どもたち。歌や音楽が聞こえてくると体を揺らしたり、拍手をしたり「もうっかい！」とリクエストしたりして楽しんでいます。今月も『かたつむり』や『あまだればったん』等、季節に合わせた歌をうたって楽しみたいと思ひます。雨の日には室内で三角マットや階段マットを使ってよじ登る、波型平均台の上を歩く等しながら体をのびのび動かして過ごそうと思ひます。

生活面では、保育者に声を掛けられてズボンを脱ごうとしたり、帽子を被ろうとしたり、身の回りのことをやってみようとする姿が見られるようになってきました。難しいところは手を添えて一緒にしながら、「やってみよう」とする子どもたちの気持ちを大切に、丁寧に関わって過ごしていきたいと思ひます。

今月は絵の具で指スタンプを楽しみます。絵の具の感触や指で色が付く面白さを感じ、子どもたちの表現を大切に過ごしたいと思ひます。一人ひとりの素敵な飾りに変身する予定なので、楽しみにしててくださいね。



『Jambo (じゃんぼ!)』という歌をうたって一人ひとり名前を呼ぶと、「じゃんぼー！」と元気いっぱい返事をする子どもたちです。友だちの名前を呼んだ時も、「じゃんぼー！」と友だちと一緒に嬉しそうに返事することもあり、その姿がとてもかわいらしいです。ひよこ組の部屋は毎日子どもたちの元気な声でいっぱいです！

りす組になって2か月が経ちました。2グループに分かれて朝の時間に保育者のタンバリンやウクレレ、電子ピアノを聞きながら友だちと一緒に歌をうたうことを楽しんでいます。「キラキラ(星)」、「ちようちょ」、「はたらくくるま」と好きな曲をリクエストして、保育室は子どもたちの元気な歌声でいっぱいになります。また、保育者や友だちの話の聞いたり、少しずつ自分の思いを言葉で伝えたりすることも増えてきました。同じグループの友だちと一緒に絵本を見たり、その日の活動を聞いたりする中で、やりとりのひと時も大切にしていきたいと思ひます。

先月は初めてのりを使って表現することを楽しみました。実際にアジサイを見ながら「かわいい」「一緒」と言いながら、好きな色の画用紙を選び、人差し指でのりの感触を味わいながらぐるぐると塗ったり、切った丸い折り紙をそれぞれにひらひらさせたりしました。今月ものりやパスなどを使って七夕制作を楽しみます。いろいろな素材に触れながら、経験することや表現することを楽しみ、過ごしていきたいと思ひます。



りす組では子どもたちと一緒に夏野菜のオクラとミニトマトを育てています。プランターに苗を植え、水やりをした時は、「大きくなあれ」と声をかけ、生長を楽しみにしていました。その日、戸外遊びをしたあと、プランターのミニトマトの苗をのぞきこんで、「トマトは？」と不思議そうにしているAくん。すぐにトマトができると思っていたのかな？これから毎日、子どもたちと水やりをしたり、生長を感じながら、大切に育てていきたいと思ひます。